

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催対象	子育て世代	担当班	議員名	担当
参加人数	5人		蔵本 茂弘	司会進行
開催日	平成30年7月21日(土)		坂下 春則	活動報告
開催時間	午後7時～午後8時30分		吉藤 洋子	記録・報告書作成
会場	TENAMU交流スペース		原 勝信	
その他			時任 隆一	
		2班		

◎班代表者 蔵本 茂弘

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
テーマ	子育てについて		
<p><b>【意見交換の概要】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 放課後児童クラブの対象年齢はどうなっているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 放課後児童クラブの定数や場所を増やすことはできないのか。働いているので増やしていただくと助かるのだが。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 小学校1年生から6年生までが対象年齢となっている。現在13のクラブがあり、待機児童はほとんどいない状況である。希望があれば、途中からでも入れると思う。</p> <p><input type="checkbox"/> 通学路の途中で時計がない。距離も長いので特に朝は遅刻しそうになる。</p> <p><input type="checkbox"/> 細野中グラウンド(南側)は、木が生い茂っており、夕方は特に暗い。区長さんにも相談したがなかなかの状況である。外灯でもあるといいのだが改善ができてない。</p> <p><input type="checkbox"/> 下校時の見守りを増やしてほしい。変質者に声をかけられたこともあって・・・学校側に言っても何も対応してくれない。警察に言って対応してもらったが一時的なものである。</p> <p><input type="checkbox"/> 通学路に木陰を作してほしい。特に小林校区は街中で木陰も少ない。熱中症が心配で学校側も水筒対応をしているが、声を上げていただくと学校側もすぐ対応してくれるのかと思う。</p> <p><input type="checkbox"/> 以前は学校帰りにお水を飲ませてくれるようなところもあった。そのようなものはできないか。</p> <p><input type="checkbox"/> こども110番のネーミングが不審者対応に思える。子どもは110番のイメージが気楽に寄れない。</p> <p><input type="checkbox"/> こども110番の意味を実際保護者の方が分かっているのか。子どもに伝えられる知識を含めてどうなのか。せっかくあるのに活用されていないのはもったいない。</p> <p><input type="checkbox"/> 安心して出産ができる体制を早く作って頂きたい。これから出産する方のためにも良い環境を作してほしい。</p> <p><input type="checkbox"/> 夜間の小児科は対応してもらえないのか。市立病院に夜間駆けつけたが「できません」と突き放され紹介もしてもらえなかった。夜間でもありどうしていいか分からない。出</p>			

できませんと突き放されるのであれば次の方策もつくっていただきたい。

□里帰り出産ができない。親がそのために県外に行くことになる。

□母子手帳交付の時間、曜日などもっと市民が受け取りやすく変更できないか。働いていると行けない。

■貴重なご意見を聞かせいただいた。教育委員会や子育て支援課、議会などで議論を深めていきたい。

### **自由意見の交換**

※□市民の意見 ■議員の意見

□子ども達が楽しみにしていたが、昨年度は「走れぞう列車」事業はなかったのか。教育フォーラムも早めの開催だったと思うが。

■昨年度はTENAMUビルにて行われている。走れぞう列車事業は小林市青年団協議会を中心に開催され、楽しみにしている子もいるので、青年団の負担等も考えられるが打合せしてみる。

□TENAMUビルに今日初めて来てみた。申し訳ないがたいしたことないだろうと思っていた。このスペースは非常に入りやすく、子ども達はよく来ていて「すごくいい」と言っている。

■木育スペースもあり人気である。まちなかの図書空間やおしゃれなカフェをはじめ、キッチンスペースやフードラボ、雨の日の遊べる空間など多く取り込まれている。是非これからも利用していただきたい。

■小林市立図書館にも子どものスペースがある。幼児から小学生までの本もたくさんあり、読み聞かせも月1回イベントで行なっている。今後拡張も予定しており、勉強もでき、児童館も遊具がたくさんある。子育てには良い環境である。

□駅の方（KITTO小林）のイベントは何もないのか。

■駅の方は、駅舎（KITTO小林）を利用する駅舎活用事業と観光列車事業がある。観光列車事業はレストラン列車をはじめ年間には10数本が観光列車として計画されている。